

会 議 記 録					
会議の名称	決算特別委員会 (全体会)			会議場所	全員協議会室
				担当職員	鈴木 智
日時	平成27年9月24日(木曜日)		開 議	午前 10 時 00 分	
			閉 議	午前 10 時 22 分	
出席委員	齊藤委員長、湊副委員長(産業建設分科会委員長)、石野総務文教分科会委員長ほか委員17名 欠席:明田環境厚生分科会委員長、木曾委員 (西口議長、竹田議員(委員外議員))				
執行機関出席者	栗山市長、湯浅副市長、勝見副市長、竹岡教育長、坂井病院事業管理者、岸企画管理部長、門総務部長、中川会計管理室長				
事務局出席者	藤村局長、山内次長、鈴木議事調査係長、三宅主任、池永主任				
傍聴	可	市民 名	報道関係者 名	執行機関 名	議員 名

## 会 議 の 概 要

10:00

### 1 開 議

### 2 委員長あいさつ

< 齊藤委員長 >

決算審査の意義を確認しつつ、二元代表制を担う議会としてよりよい決算審査を実施できるよう、慎重、円滑な審査に協力願う。

### 3 委員会日程について

〔事務局長 説明〕

〔議事調査係長 説明〕

### 4 決算審査

10:04

〔市長等 入室〕

< 市長 >

安全・安心 笑顔と絆のしあわせ実感都市の実現を目指し、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～を着実に前進させ、誰もが幸せを実感でき、夢を育み未来につなぐにぎわい交流のまちづくりに取り組むという強い決意のもと予算編成を行った。依然として厳しい社会・経済情勢のもとで常に財源の確保を図りながら、最大限に効果的・効率的な予算執行に努めてきた。

昨年度は、税収が100億円を下回った。地域経済対策交付金の減少による国庫補助金の減額等もあり厳しい財政状況となったが、基金の取り崩しや市有財産の売却などによる財源確保に努め、扶助費や災害復旧費の増大に対応

した。予算執行は概ね順調に推移し、一般会計の実質収支は市制施行以来の黒字決算を継続することができた。

各特別会計においては、実質収支はすべて黒字決算となった。企業会計は今回の決算から地方公営企業会計制度の改正による新会計基準を適用し、退職給付引当金を特別損失として計上した。

決算は将来の財政計画や各種まちづくり計画の推進における基礎的データともなるもので、分析・評価を怠ることなく有効に活用していく。

〔会計管理室長 概要説明〕

10 : 21

5 その他  
なし

10 : 22 散会